

当社グループが  
2043年に目指す姿:

# 交通インフラメンテナンスのリーディングカンパニー

鉄道工事業界において「ナンバーワン」、  
建設業界において「オンリーワン」であり続ける

**ナンバーワン**  
鉄道の「安全・安定輸送」を支えるスペシャリスト、  
他社をはるかに凌駕する鉄道工事施工ノウハウの蓄積

**オンリーワン**  
一般建設工事とのシナジー効果、  
鉄道工事で磨いた高付加価値な施工力を活かした  
社会インフラのメンテナンス事業拡大

「すべてのステークホルダーが安心して暮らせる社会創り」  
に貢献するため、「持続的成長」を実現

**持続的成長**  
ステークホルダーからの信頼・共通価値の創造、  
誰もが「安心や希望」を感じられる未来の創造



## 創業100周年に向けたJump

- 鉄道工事の安全性と品質を向上し、  
鉄道工事における不動の「ナンバーワン」を  
ゆるぎないものにする
- さらに、一般建設工事においても、  
安全・品質の「ナンバーワン」に挑み、  
発注者の信頼を高める

- 社会インフラのメンテナンス事業のうち、施工環境や  
条件の厳しい難工事、高い技術力を要する大規模工事  
など、当社が培ってきた付加価値の高い鉄道工事の  
施工力を活かし、建設業界において「オンリーワン」  
の存在として業域を拡大する
- 東日本管内の鉄道工事「ナンバーワン」として  
公民鉄のメンテナンス事業を拡大する

- 技術開発力、グループ会社・協力会社を含めた総合力を高め、  
鉄道工事の技術力・専門性を更に磨き上げることで、  
鉄道工事業界を牽引する「ナンバーワン」であり続け、  
鉄道工事の生産性を向上する
- その総合力を一般建設工事にも応用し、  
生産性向上とともに事業を拡大する

### 安全戦略

ナンバーワン

### 受注戦略

ナンバーワン  
オンリーワン

### 生産性 向上戦略

ナンバーワン

～安全はすべてに優先する～  
変わらぬ「社会的使命」を果たす

### 人材戦略

持続的成長

- 当社グループと協力会社、鉄道メンテナンスのすべての関係者の  
「働き方満足度」を向上させる
- それにより、会社を発展させすべてのステークホルダーに寄与する
- 鉄道メンテナンス体制を将来的に維持し続けるためにも、当社グループ  
のみならず、サプライチェーン全体の賃金上昇も意識した経営を行う

### ESG戦略

持続的成長

- 環境保全、働き方改革、ガバナンスの深化など、社会からの要請に誠実に対応し、  
すべてのステークホルダーに信頼される企業になる
- 環境負荷削減技術を他社へも展開し、  
カーボンニュートラル実現に向けて鉄道工事業界を牽引する

創業  
80  
周年

#### これまでの10年間

- JR東日本とのパートナーシップに基づく、盤石な受注体制
- 鉄道工事で磨いた高付加価値な施工力による、高い利益率

#### 安定した業績、圧倒的に健全な財務内容

※ 安定性 [10年平均 '13/3期～'22/3期]  
自己資本比率 ..... 59.5%  
経営事項審査Y評点'21/3期まで9期連続No.1  
※ 収益性 [10年平均 '13/3期～'22/3期]  
自己資本当期純利益率(ROE) ..... 11.6%  
売上高営業利益率 ..... 8.8%

#### 社会経済

好影響の要素 ▶ インバウンド需要の回復による鉄道旅客者数増加、防災・減災分野の拡大 / 社会インフラの維持・メンテナンス・長寿命化への要請  
挑戦する課題 ▶ 長時間労働の法規制、資材価格高騰、担い手不足 / 2030年SDGs達成・2050年カーボンニュートラル、AI活用・DX推進

#### JR施策

- 新幹線レール更新(REXS)
- ホームドア整備
- 耐震補強工事(第3期) [事業規模 4,500億円]
- 羽田アクセス線整備 [事業規模 2,800億円]
- 新幹線大規模改修 [事業規模 1兆円]
- モーダルシフトによる貨物鉄道需要の高まり

#### 公民鉄施策

- 鉄道メンテナンス事業(維持更新)
- 鉄道近接・横断部の社会インフラの維持要請

#### その他施策

- 国土強靱化対策 [事業規模 15兆円]
- 北海道新幹線 [事業規模 2.3兆円]
- インバウンド需要の回復に伴うホテル・商業施設等の建設増加
- カーボンニュートラル対応に向けた、太陽光・風力発電などエネルギー関連施設への投資

2030年

2040年

2050年